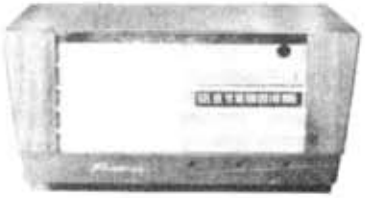
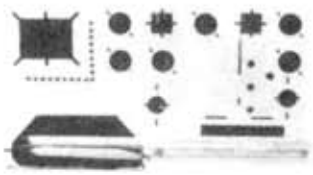
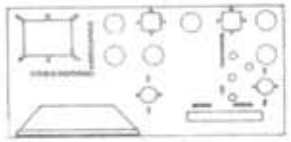
市販ラジオ・キャビ キットはいずれを選ぶべきか

レッドスリー 6S-200型



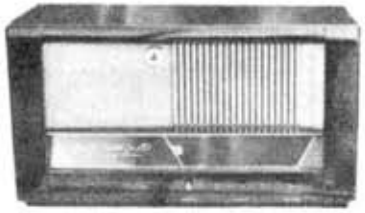


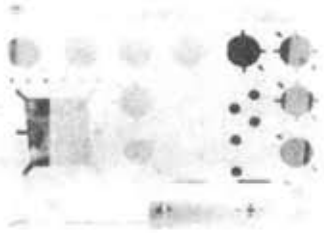


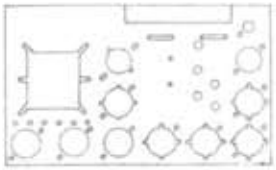
写真では色が判らないので解説を加えると、機の地は黄色、左右の遮蔽板の大い木は明るい茶色。下のキャビおよびシャ[illegible]の板は黒色。ダイヤルの周囲は明板、上の面は黒いふち色の金属に赤い文字。他は白色に金の点線に浮き出るようにしたところ。全体としてあまりも明るい感じ。機械ないしは色が暗色に近すぎる。これ程のパネルクリアは不要ではなかったろうか。写真によると上品なデザインなのに惜しいと思う。

[illegible]

フリップ







このキャビネットの塗りはきわめて良い。一般にメーター物と、キットとは塗りを見れば[illegible]メーター物は略して入念に仕上げてあるのにキャビキットは塗りが[illegible]る程度いのが普通。その点このキャビの塗りはねばならない。

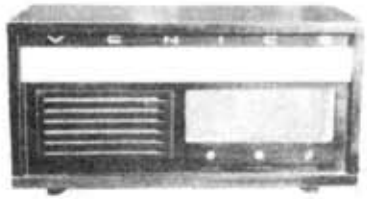
大型で高級品向き。

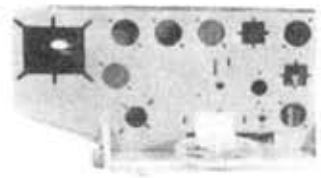
ダイヤルの上はロ[illegible]部子、別はプラスチック。全体としてガッチリできている。

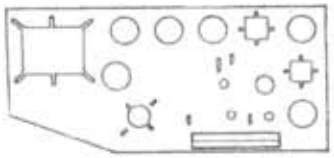
ツマミの周囲は白、中は金である。

キャビの下に黒いゴムマット。 2700円

ベニス V-10型







全般的に黒みがかった感じ。塗りはキットとしては普通。VENICEの文字の下の板は白地の金縁。スピーカー前面の格子板は赤味がかっている。ダイヤルの板は波型の金粉模様。ダンダラが少しあくい。

この会社のものとしては失敗作であろう。

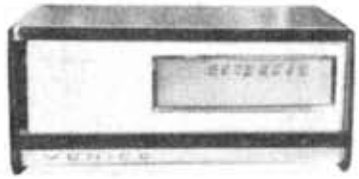
バッフル板は少し薄く、機器よ。バッフル板と、キャビネット前面との間に一寸隙間ができるのが気になる。

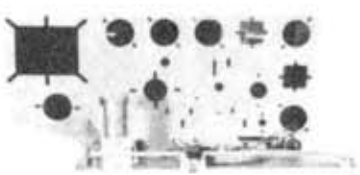
ダイヤルの工作よく、配置は普通。木材は乾燥剤により含水率12%以下にしてあり、狂いのこないのが特長。付属は厚くしっかりしている。

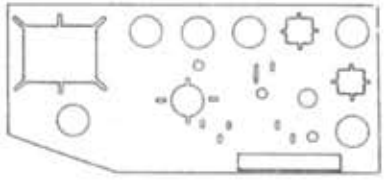
（老川工業所）

1680円

ベニス V-202型







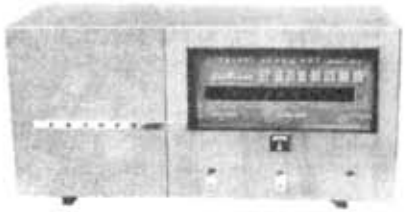
3バンド用の大型キャビキット。全体の大型の機械ダイヤルが美しい。対象は3.5～30Mc。ラジオのコイル・キットを使用できる。

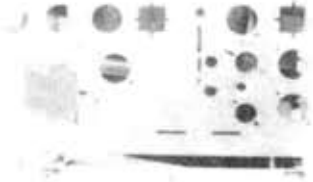
その他には例、下のプラスチック板の表面は金粉塗り。いずれも仕上がりよく上品な感じ。

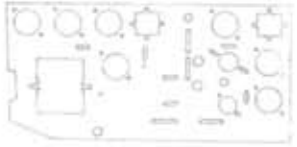
VENICEの字はもう少しふきくしてほしいとこと。高周波材料が組めないのが残念である。

材料はレッ、良家製乾燥機により含水率12%以下に乾燥し狂いのこないようになっている。ダイヤル周囲はガッチリしている。 1980円

タイヘイ 6Z-7型





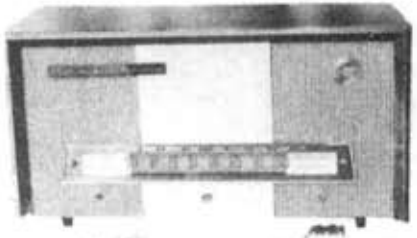


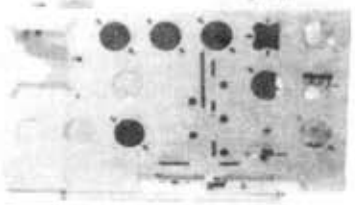
ダイヤルのふちはチャート色。ダイヤルの後の板はおずみ色。別は金色。左の遮蔽に入ったアクセサリー板の金色は仕上げ良く美しい。

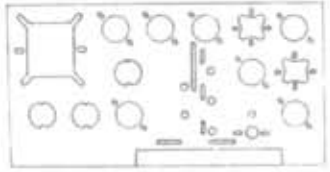
上品な感じがよく出た作品。成功である。

塗りも良い。 2000円

キングトーン KT 866型





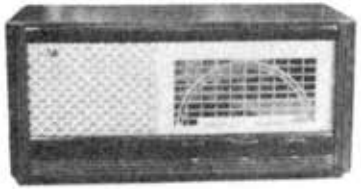


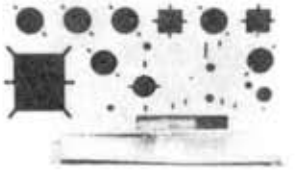
大型キャビネットの前面を三[illegible]に別、長中は三角形プラスチックで金色。美しい。

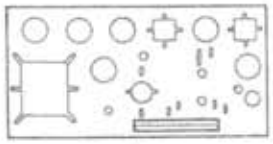
ダイヤルは新法い。全体のバランスはよくとれている。成功作。ツマミの透明なのはーずキャクしないと思う。

シャシー板は厚く、安定感がある。 1800円

トーホー SD-30型







ダイヤル面の透明プラスチックが手引と長子との組み合わせなのが目につく大型な組み合わせだがどちらの部品も生きているとはいえない。オランダ型のように手引きノブの美しさを生かすべきであったろう。

ダイヤルの後の板は、相地のものとチラシのものと、蛍光を塗つがラスはーずあくどいようだ。

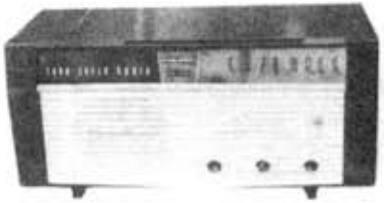
左の布はーず[illegible]ついたようだ。

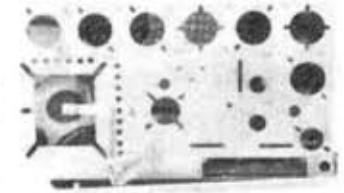
塗りは普通である。

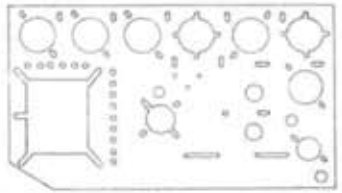
シャシーは少し狭い方だが実用上変化。ダイヤルの手引が大きいのにくらべて。ダイヤルのドラムは少さい。この社の製品としては成功作とはいえない。 東洋電機商業

1600円

トーホー S1300型







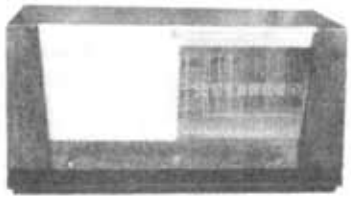
SD130の後公型組品。

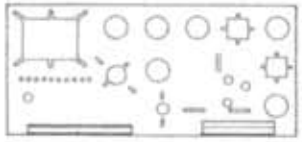
ダイヤルの目盛板はガラスで透明度良好。

同調の目盛はよく合う。美しいデザインの成功例。ダイヤルの後の板は白状態のプラスチックで、明るい配合は良好。材質は同調がシャ、表面はカツクである。チャートの上にプラスチックのパネルが使ってある。近代的な感じ。スピーカーの前のネームも[illegible]ない。シャシーはガッチリしている。

市販ラジオ・キャビ キットはいずれを選ぶべきか

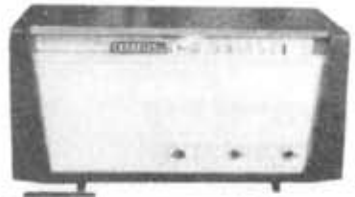
クライスラー 8350型

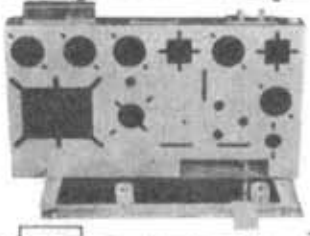


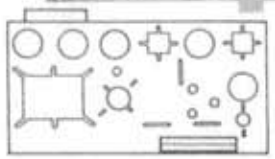


白塗色のしまのあるサランがおしゃれ。写真ではシャシーを引き出してあるので感じがまったく違ってしまうが、実はダイヤルの下も同じセランなのだ。シャシーが入るとサランが連続して見える。サランはケバが無く、空気を通過しないので、音質をよく通す。よごれても、ふけばすぐとれて美しさを保つ。若代向なつぼを持つ化粧材料。今後のキャビとして広く認められるようになるであろう。全般的に無難な設計。難をいわしてもらえば、下の調のクラックが一寸強すぎる。スピーカーに網の縁がほしい……といったところ。強度的、振も厚く安心である。 1700円

クライスラー 8S333型

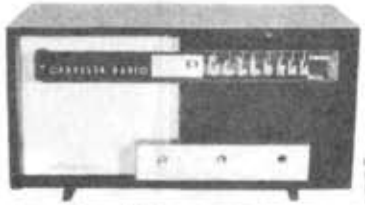


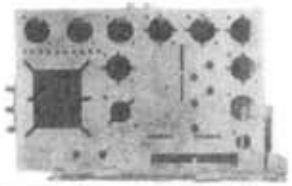


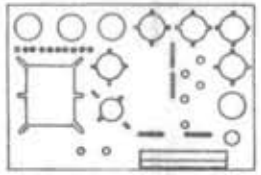


サランを使用した作品。全体としてすっきりとしている。裏ケの仕上が美しい。ダイヤルの上の調は濃いぶし色。アルマイトであろう。材料は厚く、回路は一流品。なおキャビの材料はほとんど問題がない。裏面がカラクきすぎているようである。ママ4の問題が問。中に白銀の板が入り、これもキャビとよくマッチして上品である。強いて難点をいえば、Chrysler の文字がきすぎる。マジックアイの左の横形の赤色のバックのアクセントをつけた文字はなくてもよいといたい。大体、ここのキャビ・ノーカードも自動の主張をあまりにもたくさん出きすぎる。文字でなく、模様としての価値を制限したら、ダイヤル面に書いたりしたらもっと美しくなるのではなかろうか。 2100円

クライスラー 6S111型

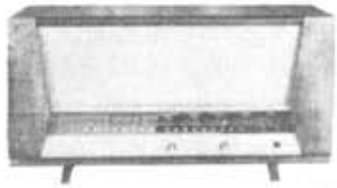


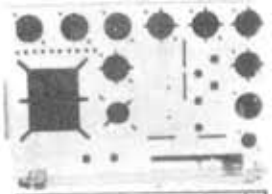


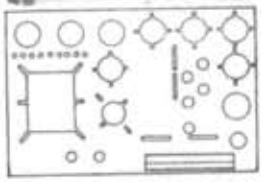


サランに加わるに新材料ダックを使用した野心的。見事に成功してキャビネット群の中で断然光輝を放っている。ダックは住友化工材工業株式会社製品のルックレックスとのこと。ダックの裏側でも裏ではツヤの中に出っている白っぽい板。美しく、やわらかな光沢を放ち、無かる色彩が未練所である。割れず、よごれず、熱や気品に強いとのこと教えである。ダイヤルのプラスチックが知に組ぶて、黒と白が強いアクセントをつけたことも少しも無神がない。左の未調はカラクの合板。位置形よしと、横が弱っているが、これ又悪しい。シャシーも充分ダックとして、高周波一式が組める。知識形がないのが惜しい。大型、真空管をつけた貴夫人といったところ。 2500円

クライスラー 6S100型

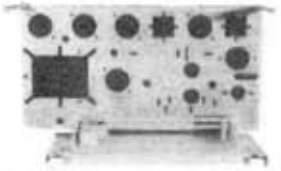


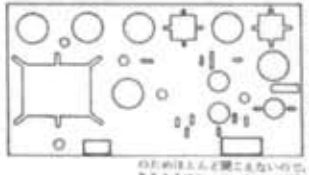




建物のない設計。意匠はくすぶ感が美しい。ダイヤルの上の装はつやなしの黒色。ダイヤルは一致であろう。これは金色金属のようにのっぺりしたくぼみやすい真鍮色を使つと思われる。ダイヤルの反側はランマがはってある。ダイヤルの下のプラスチの縁の調は銀色。その下は黒電。いずれも目の行ちょうない色である。マジックアイのスクリーンは透明のプラスチック。シャシーはクローム・メッキであろう。美しく光っている。トランスと真空管との間には通風孔用の小孔列があけてある。そしてシャシーの下、キャビの底にも通風の孔がある。特にシャシーだけに通風孔をあけてキャビネットの底には通風孔のないキットがあるが、これでは何にもならない。スピーカーは6.5～8インチまで使用できる。 3000円

サンエス 8S116型

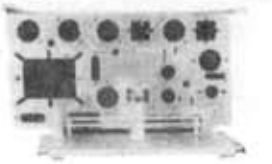


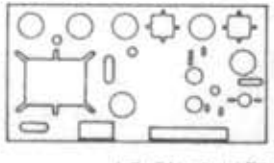


無難な設計で成功した例といえよう。黒い肩は強調よく、全体を強く引きしめている。左のスピーカー、右のダイヤル。この二つを区切る線の印象も大きな役割。ダイヤル・メカニックシャシの調は白。その上プラスチックの裏は金色。こゝ絵ぶく。各局の周波数表が書いてあるが、あまり気にならない。これはラバンで別で製図の目盛がある。数字はダイヤルの調版のガラスに、目盛は裏の面に書いてあり、間隔による読みとり誤差を防ぐのに有効である。但し、製図の目盛りが6～10MCなのは気になる。短波見張放送は、波長14MCは滅多のことはほとんど聞こえないので、見非とも4MC帯も受信できるようになっていることが望ましい。ダイヤル・メカニックシャシはプラスチックの裏に金張り。ダイヤルの後の調はくすんだ金色。ケイの後の板は黒色で仕上げは良好。マジックアイのメカニックシャシの仕上はよくない。

（東京電機産業） 2950円

サンエス 8S120型

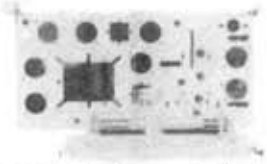


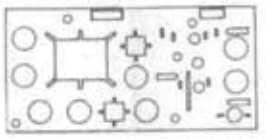


例によってベークライトまがいの木製の格子。表面仕上が強くつやがなければ美しさが損われる。色は黒だが淡に赤味いキャラコレート色にした方がもっと良くなる。ダイヤルはテレビのビデオアンプーナーブを思ったものと思われるが、ダイヤルの調版のガラス板は美しく感動。周波数の文字は、下の8から100度までの文字は金、目盛は赤。SUPER HETを同様にした文字は金色。その下の SANESU RADIO と一緒とか STANDARD BROADCAST は赤。なお、右の格子が連続していないから、現在のように、連中で同じ用紙まもなしで、ダイヤルのついた板にピクトをつけて、連続しているように見せた方がすっきりしてよかったと思う。シャシーは例して調整できる。ついでに例は、ボボン塗料塗りで美しい。小型のトランスでも付ける余付製付。アース・タグ付でアマチュアに便利。

東京電機産業2950円

サンエス 6S200型

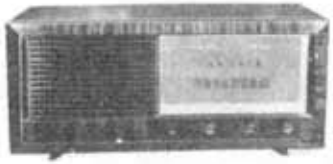


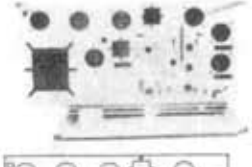


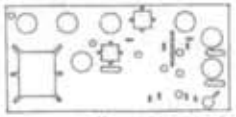
例によって格子型の構成だが、これはチョコレート色で、表面仕上もよく成功している。周囲のやもと全体を明びた赤で塗りがよい。

左の格子とダイヤルのメカニック部は同じ金色の構成。新鮮は、二色の色がより上品になったと思う。一部に金色の金属が付け、ガラスの表面仕上を同じたものは無いものはないので、なるべく丈夫な仕上げのものを使うべきである。ライン・ゴールドのようなアルミの表面に特殊な塗料をつけたものはガラスと同に強さがもうで別しくなかなかはげない。ダイヤルの指針も金。メカニックシャシはプラスチックの裏に金箔を塗り、ダイヤルの後の板は淡黄で塗装仕上。いずれも上品な感じを出している。つまみの後の三本の調は、大きな過ぎで美しい。シャシー・ダイヤルなどは例によってアマチュア向き温度的である。 2200円

サンエス 6S250型







左側のスピーカーグリルの格子はベークライトまがいの木製。このようなものはベークライトもっくりのつやがなければ美しくないものになってしまう。格子の上下、左右のガラも別になる。ダイヤルの左、格子の左の金色の板は表面仕上があまり強くないが、もっと強くすると上品な感じも見わたしてやすい。

ダイヤルのプラスチック板の表面は少し色出してグラウンドしているがあまりよしとした調版の美しさがほしいもの。短波帯はコーヒ Mc の超一型だが、日本短波放送はやがて、6.8 Mc 帯にも進出を出すと思われる。(用ラジオ)は全国を一年中安定にカバーできぬ) のでトライ管のユニー10 Mc 用の目盛も欲しい。金色のつやは良い。色が強い。OF-TONE とメイッチは強と短波帯に共通できるものであって欲しい。シャシーにはアース用が大きく出ていて配線し易い。また調、同に例しても真空管を強めのようで用が出っているのもアマチュア向きである。部品の配置は良い。 3000円